

聖霊降臨

新シリーズ
～福音となったイエス～

2026・1・18

イエスの復活と昇天

- ご自分が生きていることを弟子たちに示された
 - 「イエスは苦難を受けた後、御自分が生きていることを、数多くの証拠をもって使徒たちに示し、四十日にわたって彼らに現れ、神の国について話された。」使徒1:3
- 弟子たちが見ている前で天に昇られた
 - 「こう話し終わると、イエスは彼らが見ているうちに天に上げられたが、雲に覆われて彼らの目から見えなくなった。」9
 - ご自分が確かにこの世からいなくなったことを弟子たちに納得させるための演出

昇天する前のイエスの言葉

「そして、彼らと食事を共にしていたとき、こう命じられた。『エルサレムを離れず、前にわたしから聞いた、父の約束されたものを待ちなさい。ヨハネは水で洗礼を授けたが、あなたがたは間もなく聖霊による洗礼を授けられるからである。』」4～5

「あなたがたの上に聖霊が降ると、あなたがたは力を受ける。そして、エルサレムばかりでなく、ユダヤとサマリアの全土で、また、地の果てに至るまで、わたしの証人となる。」8

エルサレムに留まった人たち

- エルサレムに留まった弟子たち

- イエスに従った多くの人は離れ去ったが
- 使徒たちをはじめとしてイエスの母・兄弟など
約120人がエルサレムに残った
- 彼らはイエスの約束を信じた人々である

- 彼らは「心を合わせて熱心に祈っていた」

- 「父の約束されたもの（聖霊による洗礼）」とは何なのか全く分からなかった
- いつ授けられるかは分からなかった
- それでも彼らは待ち続けた

使徒言行録2章1～12節

五旬祭の日が来て、一同が一つになって集まっていると、突然、激しい風が吹いて来るような音が天から聞こえ、彼らが座っていた家中に響いた。そして、炎のような舌が分かれ分かれに現れ、一人一人の上にとどまった。すると、一同は聖霊に満たされ、“霊”が語らせるままに、ほかの国々の言葉で話した。

さて、エルサレムには天下のあらゆる国から帰って来た、信心深いユダヤ人が住んでいたが、この物音に大勢の人が集まって来た。そして、だれもかれも、自分の故郷の言葉が話されているのを聞いて、あっけにとられてしまった。人々は驚き怪しんで言った。「話をしているこの人たちは、皆ガリラヤの人では

ないか。どうしてわたしたちは、めいめいが生まれた故郷の言葉を聞くのだろうか。わたしたちの中には、パルティア、メディア、エラムからの者がおり、また、メソポタミア、ユダヤ、カパドキア、ポントス、アジア、フリギア、パンフィリア、エジプト、キレネに接するリビア地方などに住む者もいる。また、ローマから来て滞在中の者、ユダヤ人もいれば、ユダヤ教への改宗者もあり、クレタ、アラビアから来た者もいるのに、彼らがわたしたちの言葉で神の偉大な業を語っているのを聞こうとは。」人々は皆驚き、とまどい、「いったい、これはどういうことなのか」と互いに言った。しかし、「あの人たちは、新しいぶどう酒に酔っているのだ」と言って、あざける者もいた。

五旬祭の奇跡

- 「五旬祭」とはユダヤ人のお祭り
 - 三大祭りの一つで、過越し祭から50日目
 - いわゆる「収穫祭」である
- 激しい風のような音がする
 - 彼らはただ集まって祈っていた
 - 「突然、激しい風が吹いて来るような音が天から聞こえ…」: 聖霊はしばしば「**風**」にたとえられる
- 炎のような舌が現れる
 - 「炎のような舌が分かれ分かれに現れ、一人一人の上にとどまった。」: 聖霊は「**火**」にたとえられる

五旬祭の奇跡

- ほかの国の言葉で話し出した弟子たち
 - 「“霊”が語らせるままに、ほかの国々の言葉で話した。」
 - もちろん彼らが聞いたこともない言葉だった
- 弟子たちの言葉を確認した人々
 - 「エルサレムには天下のあらゆる国から帰って来た、信心深いユダヤ人が住んでいた」
 - 「どうしてわたしたちは、**めいめいが生まれた故郷の言葉**を聞くのだろうか」**言葉が分かった！**
 - 「彼らがわたしたちの言葉で**神の偉大な業を語っている**のを聞こうとは。」**内容も分かった！**

五旬祭の奇跡

- ほかの国の言葉

- 「“霊”が語らせる話しだした。」

- もちろん彼らが聞

パルティア、メディア、エラム、メソポタミア、ユダヤ、カパドキア、ポントス、アジア、フリギア、パンフィリア、エジプト、キレネに接するリビア地方、ローマ、クレタ、アラビア
(中東から地中海沿岸)

- 弟子たちの言葉を確証した人々

- 「エルサレムには天下のあらゆる国から帰って来た、信心深いユダヤ人が住んでいた」

- 「どうしてわたしたちは、**めいめいが生まれた故郷の言葉**を聞くのだろうか」**言葉が分かった！**

- 「彼らがわたしたちの言葉で**神の偉大な業を語っている**のを聞こうとは。」**内容も分かった！**

この出来事の目的

- イエスの約束通り「**聖霊**」が降った
 - ・ 激しい風のような音と、炎のような舌
- 最も制御が難しい「**舌**」を聖霊が制御した
 - ・ 「舌」を制御したことは「全身」を制御した
 - ・ 聖霊が助けてくれるという確信
- **外国の言葉**で話した
 - ・ 弟子たちが「地の果てに至るまで」イエスの証人となることを暗示している
- 「洗礼（**バプテスマ**）」
 - ・ イエスが洗礼によって働きをはじめられたように弟子たちによる働きの**開始**を告げた

もう一つの奇跡

- 彼らの言葉を理解する人々がいた
 - “ディアスポラ(離散したユダヤ人)”が、弟子たちの言葉を理解した
 - **彼らがいたからこの出来事は成立した！**
- 彼らはなぜそこにいたのか
 - 約600年前にユダヤ人は主なる神に背いて国を失い、世界中に散らされた
 - それぞれの地域でコミュニティを作り、信仰を保ち、折に触れてエルサレムに巡礼していた

神はすべてを予め計画しておられた！

超ペンテコステ

- 弟子たちは全く予想していなかった
 - 彼らはただ祈って待っていただけで、「ほかの国々の言葉で話」すことを願っていたのではない
- 聖霊の働きを制限してはならない
 - 聖霊が降ると知らない言葉を話すことが「聖霊の洗礼」と考えるのは、聖霊の働きを制限している
 - 予想外のことが起こることが「聖霊の洗礼」である
 - いつなのか、どのようになのかは誰にも分からないが、復活の証人となるために今も聖霊が降る

聖霊の働き

予想外の奇跡

綿密な準備